



# 動き出した議会発

# の政策サイクル



寄居町議会は、議会基本条例<sup>〔\*1〕</sup>制定に基づき、提言を昨年10月に提出しました。提言は下記4課題であり、1日も早く取り組まなければならぬ議会には予算や条例の議決という権限があり大きな役割。今回の予算において各提言はどう生かさせて経過をお知らせします。※金額は万円未満切捨

平成28年度決算を踏まえて新年度予算への項目。いずれも将来のまちづくりにかかわると思っています。すが、町行政へのチェック機能も議会の大きされたのか。新年度予算の質疑と合わせ  
提言の経過は、議会だより86号をご覧ください▶



## 提言は予算に どう生かされた?

### ① 企業誘致の推進

桜沢工業等導入地区における企業立地ニーズ調査/地権者へのアンケート実施等  
30年度予算 **446万円**

専任部門を分離・独立させ、企業誘致戦略室を新設  
ホンダの生産体制再編に伴う受け皿づくり



### ② 教育の充実

「より・E土曜塾」、  
「より・E春塾」の実施期間・回数を拡充  
30年度予算 **1488万円**

小学5・6年生の英語の授業を小中一貫(中学の英語教員も)で取り組む  
30年度予算 **454万円**

指導力に優れた講師を全小学校に配置。若手教員へ指導・助言  
30年度予算 **454万円**



### ③ 観光の振興

水辺空間のため、荒川沿岸の遊歩道や玉淀親水広場、雀宮公園を整備  
30年度予算 **1億528万円**



安全性の確保と集客拡大のため、中間展望デッキ等を改修  
30年度予算 **950万円**



### ④ 男衾駅地区住宅市街地整備事業の早期着工

男衾駅東側地区の住宅市街地整備促進のため開発事業者の早期選定(繰越明許費)  
30年度予算 **251万円**

### 汚泥再生処理センターの経費削減対策

今後の経費節減を図るため汚泥再生処理センターの施設改善の時期や手法を検討

一言に  
経費削減の新計画を早期に示すべき

一言に  
妥当な地価設定で、前へ進める努力を